


でNPO法人の活動をしています。うちのNPO法人を立ち上げる時もずいぶんグラウンドワーク庄内さんからいろんな支援をしていただきました。全国的にも珍しい圃場整備事業で、めだかの保全池をつくることにも大変協力をいただきました。日頃お世話になっていきますので、だいたいの活動内容は私も理解しているつもりでしたけれども、細かいところでは苦労されながらやっているんだと、いまお話をうかがいながら思いました。

それでは最初にお話をいただきました報徳塾さんの方は、最初に行政の講座があって、それから自立をして民間の中で頑張っていこうというのと、グラウンドワーク庄内さんは最初に民間団体があって、それがまとまって行政の方にフィードバックさせていこうという、立ち上がりは違ったところがあるわけですが、どちらの団体さんも、自分の暮らす地域を学びながら生かしていこうというところは同じだろうと思います。その中で2つ団体のお話を聞いたなかでご質問等、ございましたら、ざっくばらんにお話をうかがっていただければありがたいのですが、どなたかいらっしゃいませんか。

 **黒沼** 山形から来ました黒沼と申します。報徳塾さんのお話をうかがい、資料を見せていただいて、4点ほど質問、ご説明できる箇所はお願いしたいと思いました。目的にもありますように、まちづくりのリーダーになりうる人材の育成ということが目的になっておりまして、個人的には私は従来のセミナー型から実践型へというやり方なんだろうなという気持ちをもっているのですが、そういう視点で見た時に、3番の内容詳細の中、そういうところに関係するところとしては講座、あるいはグループワーク、たぶんワークショップのことだと思っていますが、そういったところが実践的なところだろうと個人的には思っています。そこら辺のところ具体的にテーマがどんなことがなされたとか、リストがあれば、一部でも結構ですけれどもお聞かせ願いたいということが1つと、そういうところでなされたワークショップの成果というのがどのようにまとめられて参加者、あるいは市の方に公開されているのか。3番目として活動履歴を見ますと、そのグループワークが主に平成10年度に集中しておりまして、言葉が変わっているかわかりませんが、11年以降は、特に11年12年はセミナー、発表会中心になっているようなイメージが表を見ると見受けられますが、そういう実践のレベルを卒業して、発表会とか海外研修とか、そういうところに移動しているのかどうかかわかりませんが、その4点についてお聞かせいただいたらありがたいのですが。

**関** 大変難しいご質問をいただいてどうしようかと思っているのですが、グループワークの当時のとらえ方としては、ワークショップとはとらえておりません。現在は生涯学習の手法そのもの、まちづくりについても、この4年間はワークショップ主流でできていますが、この報徳塾が開校していた時代には、ワークショップという形式ではやっておりません。グループワークというのは、要するに塾生の方々同士が話し合いをしましょうという、簡単に言えば話し合いの場です。それが報徳塾そのものが内容を固定しないというか、あるリーダーがいて、たとえば大学の先生のような方がいて、このようにした方がいいんだよということで指導を受けてきたものではありません。


一番の指導者は誰だったかという、当時の市長です。当時の市長がこのようなまちづくりのリーダーを育てたいという強い意志をもって開校した塾でしたが、その内容をどうするかについてはゼロからのスタートでした。最後にお話をしてくださった大嶋さんなどは、運営委員さんということで、私ども事務局とともに内容を考え、事務局と運営委員さんの話し合いが長い時には5時間にも及んだということもありました。

とにかく何もなかったところからスタートしましたので、そういうところで高めあう、こういうようにしましょうと、とりあえず案を出して開校はしたのですが、やってみたら塾生の方々か

らのご意見で、そうじゃない方がいいだろうというのがいっぱい出されまして、そこが「生き物のごとく変化する」という、要するにどこへいくのかという部分が非常に難しいところがありました。さきほどご指摘がありました、「グループワーク」が最終年度には「グループ課題研究」へと進化をしたということも、報徳塾の特徴というか成果で合ったのだろうと考えています。

「課題研究」については、私たちや運営委員さんが指導することが難しかったものですから、専任の経営コンサルタントの先生にお願いをして、東京の方から来ていただいてご指導いただきました。

ご質問の内容で、それだけでは不足かなと思うのですが、あと抜けている部分は、どういうところですか。

 **黒沼** 話し合いの場だと、そこで決めていくというスタイルだったということで、それはそれでよろしいと思います。最後に4つ目、2つ目かな、そこで話し合われて結果が残った、成果物とか言えないにしろ、そういったものが残されているのか、やったことのリストも活動履歴という形で残っているのかなと思ひまして、どういうことがあったのか。もう1つは、最後に私の印象のとり方が偏っているのかも知れませんが、研修会、発表会、セミナー型が中心になっているのが見受けられたのが、いまの流れからすると私はセミナー型よりも先生方を呼んで指導を受けるとか、あるいは成功事例を発表してもらって聞くスタイルから、これからは実践型の、ワークショップをしながら、リーダーというのはそういう体験を通して育てていくものだろうと個人的には思っていますので、そういうところがリストからは、特に11年12年あたりからは見え難いものですから、お尋ねしたわけです。

**関** 成果物が残っているかどうかにつきましては、とりあえず、活動の成果報告書、これは部数がほとんどなくなって今日はお持ちできませんでした。事務局の方にもお持ちできませんでしたが、研究成果の報告書という形でまとめてあります。今日お持ちしたものは報告書の一部を抜粋したものです。この後に全部で100ページぐらいの研究成果が出てまいります。

それとまちづくりのリーダーを育成するというところで、リーダー育成とは取り組みながらではないのかというご指摘ですが、私たち事務局も運営さんも、偉そうにリーダーを育てましよう構えていたわけではありません。リーダー育成ということで募集はしましたけれども、もちろん「あなたがリーダーになりなさい」などと実際に言ったことはないです。

この塾が3年間で終わった時に、これからはやはり出発だろうということになりました。どちらかというとも1年目2年目は座学で、3年目に何かちょっと行動に移してみようかという流れが出てきて、鯉のぼりをあげてみたり、実際に物を売るという体験をしたことがない方がたくさんいらっしゃいましたので、朝市に出て、そこで物を売る体験をしてみたり。少しずつ座学から行動へというスタイルを変更していきました。それが3年目です。

それで実際にそうは言ひましても、それぞれお仕事をもって、いろいろな分野で活動されている方々の集団でしたので、話し合いになるとおもしろいのですが、なかなかみなさん、まとまって何かをやるという時間がなかなかとれない。1つの区切りとして、平成12年2月に卒業した後に、OB・OG会が立ち上がったわけですが、それからが本当の勝負だったのではないかと思います。

私は報徳塾が開校している頃は、担当者ということで、報徳塾全体のプログラムを組むのに一所懸命にやってきましたのですが、今はOB・OG会の活動は本当にすごくて、何か私は後からついていっているだけのような感じ、そのくらいのパワーを感じるという、凄味のある活動をやっています。そんなことでお答えにさせていただきたいと思います。

**成田** 報徳塾が始まるまでの今市市はどういう状況だったのでしょうか。報徳塾に参加された方がOB会を結成してとてもいい方向に向いているというお話ですが、それ以前はどんな感じだったのでしょうか。

**関** 私は今市市にお世話になってから、ほとんど報徳塾と歩んできたようなものです。いわゆる今市の生涯学習のスタイルというのは、平成2年に国は生涯学習の組織をつくりましょうと生涯学習振興法を定めたわけですが、それを受けて、どこの自治体も同じように行政の機関と市民の方の機関というようにつくってきたんですね。今市も同じようなことをやっていたと思います。ただ、当時の市長が私と同じ、社会教育主事という、もともと公民館にも勤めていたこともありますし、学校教育の課長をやったという経験があって、教育に対して、生涯教育に対して特に理解が深い方だったと私は認識しているのですが、そういうのもありまして、後押しがあって、頑張っただけで報徳塾のようなものをつくっていきこうよと。本当は大学も誘致したかったという話も聞いたのですが、なかなかそれも難しいということで、報徳塾にかける意気込みが表れていたんだと思います。

**大嶋** それ以前から生涯学習に関わっていたので、ちょっとお話しますが、全体的に生涯学習とか社会教育には今市は力を入れているところだったんです。推進計画も市民がちゃんと自分たちで作ったんです。文章から書いて、研究室に委託してという形ではなくて、自分たちで文章を書いて推進計画を作ったというような、そういう土壌はあったと思います。ただ、やはりいろんな役員さんとか団体という、地域の割り当てという形で、一般の方が参加するのは参加しにくいというのは多少あったと思います。それで女性2割とか年齢で何人とかがだんだん考慮されるようになって、いまみたいな形になってきたんですが、それでもそういう取り組みは早かったように思います。私たちがあちこち研修にいくと大抵、黒い背広ばかりのところに女の人が半々ずつ入っていくような感じで、私たちは男性と女性がいるのが当然なのに、視察にいくと男性の中に入ってしまうというのを何回か経験していますので、多少そういう取り組みは早くからあったと思いますが、一般の人が手を挙げて参加できるというようにはいっていませんでした。



**成田** その他にお聞きしたいことございましたら。

**伊藤** 新潟から来ました伊藤と申します。報徳塾様にお聞きしたいのですが、こちらを読むと修了年限3年間、会費年間3万円とあるのですが、最初に聞くと、まずそこで入り難いなという気がするのですが、最初の時にどういう形で、これはこういうもので、こういうことを目的としているのですよと、どうやって人を集められたのでしょうか。

**関** 先日、天童市のご視察の時もそのようなご質問を受けたのですが、塾生を募集した時にピーク時は42名いたんです。その内、一番多い世代は30代、40代だったんです。ちょっとこれは生涯学習の年齢構成からいいますと、もっと高齢の方が集まるのではないかと思っていたのですが、結果として30代、40代の方が一番多く集まりました。ただ、集まっていたのは、チラシはもちろん全戸配布しましたが、かなりPR、市内の企業は私、全部回りました。お願いにありましたし、最終的には運営委員さん11名のネットワークでめばしい方をお連れしたと。会社の方に人事の担当の方にもお話をしまして、なんとか1人でもというので、いやいやながら

来た方もいらっしやったというのが本当のところですよ。ただやはり、最終的にはいわゆる1本釣りになりました。42名の内、最終的に卒業されたのが28名でございまして、割合にすると2/3でございまして。はじめの年に辞めた方も7、8人いらして、なぜ辞めるのかなと遺留にも努めたことがあったのですが、ある時に埼玉県の起業家を立ち上げている専門家が来て、第一声で、よく残っているね、こんなに、と言われたのが、私は気持ちがそういうものなんだろうなと思ったのをよく覚えています。


できれば、報徳塾は終わってしまったのでOB会の活動の方にご質問をたくさんいただければと思います。

**阿久津** 塾生として参加した者から言わせてもらいますと、私はもともと今市市に住んでいたわけではないんですね。そこに勤めて10年とかして、このまま市との関わりがない、周りの住民との地域ネットワークはないということで、私のように参加した人も何人かいました。最初から起業家、リーダーになろうという意識はなかったのですが、その辺も行政に確認しまして、そこまで大それた考えはないんですが、大丈夫ですかと、そんな経過もありました。ですからいろんな方が参加されたのではないかなと思います。

**大嶋** 会費の3万なんですけど、最初は10万という話も出たんです。そのくらいの覚悟がないと入ってこられても困るということだったのですが、妥当な線で3万ぐらいだったらということ。でも、旅行の時に多少補填していますから、まるっきり3万円出しっぱなしということではなかったと思います。

**成田** 一般にこれまで取り組んでこられた行政の生涯学習セミナーと、若干質の違った、本当に起業家向けのトップセミナーとらえた方が分かりやすいのではないかなと思います。そこからOB会が育っていろんな活動をするというのはなかなか難しい面がいろいろあると思います。特に仕事からむと、その辺の調整の仕方で苦労されているところはありましたら。

**大嶋** 調整していません。ぜんぜん、かまいません。各自の意志に任せている。楽しければ出てくるでしょう。ただ、出て来なくなった人には電話をかけるということはしていますが、自分のテーマにそった活動ですので、けっこう満足度は高いんですね。3年間の内、自分のテーマがありましたから、それにそって卒業後も活動しているものですから、自分がやりたいようにやっているので、比較的、病気になるないようにやりましょうというのが合い言葉です。阿久津会長も血圧が高くなって倒れて、もとの塾頭も倒れて、大木先生も倒れて、ちょっとオーバーワークになるようなところはございます。だけども満足度は高いということです。

 **黒沼** 卒業された28名の方がOB会を結成されているのでしょうかけれども、OB会の条件は、こちらで年3万円だったのが、どうなっているのでしょうか。それからいまの話をお聞かせと、委員会制度みたいな形で自由にということなので、いまの流行の言葉で言えばNPOもそうですけれども、プラットフォーム型なんだろうなとイメージ浮かべたんですが、たまたまOB会と言っているだけで、そういったものと理解してよろしいのでしょうか。OB会の維持について、まだ任意団体かもわかっていませんが私は、どんな形で運営されているのでしょうか。

**大嶋** この冊子にありますけど、いま年会費6,000円で、要するに事務経費ぐらいのところをやっております。NPO法人格をとる話もあるのですが、そこまで厳密は活動はしにくい。事業として成り立つかまで責任をもってやるのはしんどいということで、単なる任意団体としてやっ